

評価報告概要表

■第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
評価調査日	平成 30年 1月 15日 (月)

■福祉サービス事業者情報

名 称	梅ヶ丘保育園	種 別	保育所
代表者氏名	施設長 富津田 慎爾	開設年月日	昭和57年2月19日
設置者	社会福祉法人徳光会	定員(利用人数)	60名(57名)
所在地	〒741-0072 岩国市平田6丁目50-27		
電話番号	0827-32-4711	FAX番号	0827-32-8808
ホームページアドレス	http://umeho.ed.jp/		

■総 評

全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

◇特に評価の高い点

1. 2年続けて第三者評価を受審しており、保育の質の向上に組織的に取り組んでいる。
2. 施設長はその役割と責任を職員に対して表明し、十分にリーダーシップを発揮している。
3. 職員は、福祉サービスの質の向上のため、「勤務心得」に記載された基本姿勢を常に自覚し、子どもが主体的に、元気に、のびのびと活動できる生活環境を提供している。
4. バイキング給食や野菜作り、収穫体験を通して食への興味関心を促す工夫をしている。また、野外活動や宿泊保育の実施など、自然や社会と関わる取組に積極的である。

◇改善を求められる点

1. 法人や保育所の使命や役割を反映した理念と、理念に基づいた子どもと保護者に対する姿勢や、地域との関わり方等を示す基本方針の策定が望まれる。
2. 2回の第三者評価受審によって明らかになった課題に対し、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定し、その解決・改善に組織として計画的に取り組まれない。また、3年～5年先の中・長期計画を策定することで、組織の将来の方向性を示すことは重要と思われる。
3. 「期待する職員像」は明確だが、保育の質を担保し、さらにそれを向上させるために、職員一人ひとりの育成に向けた目標設定をし、職員の職務遂行への意欲の向上につなげることが望まれる。
4. 保育室等の室温がやや低いように思われた。季節や天候の違いによって生じる気温の変化等にもこまめに対応し、保育所において子どもたちが心地よく過ごすことができる生活環境づくりに、一層努力されたい。

■第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

平素、保育士や他の職員は外部との関わりが少ない。理事長や施設長は、毎年の指導監査での審査を経験しているので、コンプライアンスを厳守する姿勢が必要だと実感しているが、保育士等は、保育所保育指針による新しい解釈による保育指導による指導方法は、この考え方で正しいのか、子どもへの指導が適切なのか、年齢に応じた指導ができているのかなど、さまざまな問題や疑問がありながらも、自己研鑽をする時間もゆとりもないと思われる。研修会への参加による知識は保育士全体で共有すべきでありまた、定期的に、外部による審査を受けることにより、緊張感をもった保育指導が少なからず実施できればと考えている。

評価報告概要表

■評価分野別評価結果(分野別の特記事項)

I 福祉サービスの基本方針と組織	a	0	b	7	c	2	Na	0
<p>1. 「品質マニュアル」や「入園のご案内」に掲げられている保育方針や基本方針は、主には職員に関する行動指針であり、職員へ周知されている。しかし、それは法人や保育所の使命や役割を反映した理念や、理念に基づいた子どもと保護者に対する姿勢や地域との関わり方等を示す基本方針とは異なるものと思われる。については保育所運営の基本である理念や基本方針の策定に取り組み、職員や保護者等、そして地域社会に向けて示されたい。</p> <p>2. 2年続けて第三者評価を受審しており、保育の質の向上に努力している。受審によって明らかになった課題に対し、職員の参画のもとで積極的に改善策や改善計画を策定し、その解決・改善に組織としてよく取り組まされたい。</p> <p>3. 中・長期計画についても、組織として策定されたい。</p>								

II 組織の運営管理	a	2	b	13	c	3	Na	0
<p>1. 施設長は常に職員に対してその役割と責任を表明しており、保育所の経営や保育の質の向上にその指導力を発揮している。</p> <p>2. 福祉人材の確保・定着については、職員一人ひとりの育成に向けた目標設定をし、職員の職務遂行意欲の向上につなげられたい。また、ワークライフバランスに配慮した職場環境の整備を検討されたい。</p> <p>3. 公認会計士による外部監査を実施している。今後はホームページを活用し、積極的に事業や財務に関する情報を公開し、運営の透明性の確保に努められたい。</p> <p>4. 地域交流、地域貢献では、保育所を地域に開かれたものとするために、地域のニーズ把握やボランティアの積極的な受け入れに取り組むことを期待する。</p>								

III 適切な福祉サービスの実施	a	1	b	16	c	0	Na	1
<p>1. 利用者を尊重した福祉サービスの提供については、会議等において必要な情報の共有や共通理解に努めている。</p> <p>2. 保育の開始や変更時、また保護者等が苦情・相談・意見などを述べる際の、組織内の仕組みについて、保護者等への周知や説明が不十分と思われる。</p> <p>3. 事故・感染症・災害時の安全・安心確保に関することや、福祉サービス実施計画の策定については、①職員への研修や指導、②取組内容の評価、③定期的な見直し、そして、④それらの職員間での共有をさらに徹底されたい。</p>								

IV 良質な個別サービスの実施	a	8	b	12	c	0	Na	0
<p>1. 子どもを中心にした個別サービスは適切に提供されている。</p> <p>2. 健康管理に関しても、家庭との情報を共有し、適切に取り組んでいる。</p> <p>3. 手作りおやつ、やバイキング給食、野菜作りとその収穫体験を通し、食への興味関心が持てるように工夫し、ている。また野外活動や宿泊保育の実施など、自然や社会と関わる様々な体験を多く実施していることは高く評価できる。</p> <p>4. 食事提供に関しては、利用者家族アンケートに給食内容の充実を期待する声が見られた。検討されたい。</p> <p>5. 家庭等での虐待等の権利侵害の疑いについては、子どものわずかな言動や表情の変化を見逃さず、今後とも組織を挙げて早期発見・対応及び予防を徹底されたい。</p> <p>6. 今回の訪問調査は1月15日であったが、保育室の演台に「お正月」の歌詞が掲示されていたことが気になった。掲示物は掲示・撤去の時期に気をつけられたい。</p>								